



とよかわ歴史検定2016 問題（小中学生の部）



文化財を
みんなでするだリン☆



豊川市教育委員会

問 1

次の（ ）にあてはまるものは、次のうちどれでしょう。

なかのおおえのおうじ なかとみのかまたり だくさいてき そがのいるか
中大兄皇子や中臣鎌足によってそれまで独裁的な政治をしていた蘇我入鹿らがたおされ、新しい政治の仕組みがつくられた大化の改新(645年)が起きる以前、豊川市域を含む東三河地域は「穂」の国とよばれていました。その後現在の豊川市がある地域は宝飫郡とよばれ、後に（ ）となり、その名称は旧一宮町・音羽町・御津町・小坂井町が平成の時代に豊川市と合併する前まで住所にも使われました。

- (1) 幡豆郡
- (2) 宝支郡
- (3) 宝飯郡

問 2

市内の遺跡について、次の（ ）に当てはまるものの組合せとして、正しいものは次のうちどれでしょう。

いせき
今から約1万2000年前に縄文時代が始まると、人々は土器や弓矢を発明し、狩猟や（あ）を生活の糧とするようになりました。東上町にある縄文時代早期の遺跡（い）では、簡易なつくりの（う）や狩猟用の落とし穴が発掘調査で確認されました。

- (1) あ：採集 い：天井平遺跡 う：たて穴住居
- (2) あ：稲作 い：欠山遺跡 う：高床倉庫
- (3) あ：牧畜 い：白鳥遺跡 う：物見やぐら

問 3

戦国時代に豊川市域で活躍した一族に牧野氏や本多氏がありますが、彼らが築いた城の組合せとして、正しいものは次のうちどれでしょう。

- (1) 牧野氏：瀬木城 本多氏：茂松城
- (2) 牧野氏：一色城 本多氏：岩略寺城
- (3) 牧野氏：牧野城 本多氏：伊奈城

問 4

江戸時代の交通に関する説明として、間違っているものは次のうちどれでしょう。

- (1) 現在の御津町御馬にあった御馬湊では、村から納められた年貢米が船積みされて江戸に運ばれた。
- (2) 本坂通(姫街道)がとおる当古村には、豊川を船で渡るための渡船場があった。
- (3) 市内には江戸(現在の東京)と京都を結ぶ中山道がとおり、参勤交代でたくさんの人々が行き来した。

問5

江戸時代が終わり明治時代になると、教育制度が整えられていき、市内では全国的にも早い明治14(1881)年に国府町で中学校が設立されましたが、この中学校の名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 郡立宝飯中学校
- (2) 郡立国府中学校
- (3) 郡立豊川中学校

問6

市内の12箇所の神社の祭礼で行われる、胸に太鼓を着けた3人で演じる踊りの名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 七福神踊り
- (2) 笹踊り
- (3) 躍山境おどり



引馬神社・八幡社の祭礼で行われる踊りの様子

問7

江戸時代末期から明治時代初めの頃より、金沢町の神明社をはじめとする市内のいくつかの神社の祭礼で、余興として村人らによって農村舞台とばれる芝居小屋で演じられていたものは、次のうちどれでしょう。

- (1) 田楽
- (2) 歌舞伎
- (3) 能



神明社の農村舞台

問8

豊川市の誕生と平成の合併について、次の()に当てはまるものの組合せとして、正しいものは次のうちどれでしょう。

昭和16(1941)年に豊川町と牛久保町、(あ)、八幡村が合併し、豊川市が誕生しました。平成に入ると、18(2006)年に(い)、20年に音羽町・御津町、22年に(う)が合併し、現在の豊川市となりました。

- (1) あ：国府町　い：一宮町　う：小坂井町
- (2) あ：御油村　い：一宮町　う：小坂井町
- (3) あ：御津町　い：小坂井町　う：一宮

問 9

豊川下流域を臨むようにそびえ、砥鹿神社奥宮が山頂にあるなど、古くからこの地域の人々の信仰を集めている山の名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 御津山
- (2) 本宮山
- (3) 宮路山

問 10

豊川ではたびたび洪水がおきて周囲に住む人々を困らせてきましたが、昭和 40(1965)年に洪水を防ぐための工事が完了して被害がほとんどなくなると、このあたりは農業が盛んな地域になりました。この工事で作られたものは、次のうちどれでしょう。

- (1) 大雨でふった雨水をためておける「豊川池」
- (2) 切れ目ひとつない堤防「霞堤」
- (3) 豊川から分かれて海に注ぐ「豊川放水路」



昭和 12(1937)年の豊川の洪水の様子

問 11

豊川町にある三明寺の塔は戦国時代の享禄4(1531)年に建てられた、日本の様式と中国の様式が組み合わせられた珍しい塔です。この塔の名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 三明寺三重塔
- (2) 三明寺五重塔
- (3) 三明寺五輪塔

問 12

豊川西町の豊川進雄神社の夏祭りで行われる、鳥居から拝殿までの間に約 100 メートルの綱を張り、その綱の上を行き来したり、回転したりする右の写真のような煙火(花火)の名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 進雄神社の回転煙火
- (2) 進雄神社の奉納綱火
- (3) 進雄神社の建物煙火



問 13

正月の初詣で多くの人々がにぎわう豊川稲荷・妙厳寺に関する説明として、間違っているものは次のうちどれでしょう。

- (1) 豊川稲荷信仰は江戸(現在の東京)にも及び、東京の赤坂には豊川稲荷別院がある。
- (2) 豊川稲荷は、妙厳寺の守護神である吒枳尼真天を祀ったものである。
- (3) 豊川稲荷に参拝する人が多くなったのは明治時代になってからである。

問 14

かつて豊川市の中心部にあった海軍の工場である豊川海軍工廠でつくられていたものは、次のうちどれでしょう。

- (1) 機銃や弾丸
- (2) ゼロ戦などの航空機
- (3) 潜水艦



海軍工廠で働く女子工員

問 15

牛久保町の大聖寺には、永禄3(1560)年の桶狭間の戦いで織田信長に敗れた戦国大名の墓(右の写真)がありますが、この墓に埋葬されている人物は、次のうち誰でしょう。

- (1) 山本勘助
- (2) 武田信玄
- (3) 今川義元



問 16

小坂井町の菟足神社に関する説明として、間違っているものは次のうちどれでしょう。

- (1) 豊川市内で最も古い鳥居がある。
- (2) 毎年3月に、豊作を願う田祭りが行われている。
- (3) 毎年4月に行われる「風祭り」は、平安時代後期の『今昔物語』や鎌倉時代初期の『宇治拾遺物語』にも書かれていて、古くから行われている祭りであることが知られている。

問 17

御津町赤根の法住寺にある木造千手観音立像は、もとは別のところにあったと伝えられますが、この像が法住寺に来るまでの言い伝えとして、正しいものは次のうちどれでしょう。



木造千手観音立像

- (1)江戸時代の初めに赤根の村人が夢のお告げで聞いた場所を掘ると現れた。
- (2)明治時代の初めに、伊勢(現在の三重県)で海に捨てられようとしていたこの像を、赤根の船乗りが譲り受けてきた。
- (3)諸国を旅していた人がこの像を背負って赤根の地に来たときに、像が急に重くなったのでおろしていった。

問 18

御津町広石にある大恩寺に関する説明として、正しいものは次のうちどれでしょう。

- (1)大恩寺山門は寛文12(1672)年に將軍の徳川家綱が建てたものである。
- (2)寺には文化財に指定されている絵画が3点あるが、これらは戦国時代に活躍した牧野一族が寄付したものである。
- (3)徳川家康の家系である松平家にとって大恩があるということから、その名を大運寺から大恩寺に改められた。

問 19

国府町の大社神社や赤坂町の宮道天神社の祭礼では、写真のような山車(太鼓やお囃子を演奏する人を乗せ、人が引いて動かす車)や、化粧と仮装をした子どもや若者が町を練り歩く行列が行われますが、この行列の名前は、次のうちどれでしょう。



宮道天神社の祭礼で行われる行列

- (1)歌舞伎行列
- (2)おひねり行列
- (3)大名行列

問 20

御油のマツ並木に関する説明として、間違っているものは次のうちどれでしょう。

- (1)御油のマツ並木のような東海道にあるマツ並木は江戸幕府によって整備されたといわれ、その目的は、夏は木陰をつくり冬は冷たい北風や雪をやわらげて旅がしやすいようにするためといわれている。
- (2)太平洋戦争末期頃には、全国で木材や燃料の確保のために多くのマツが伐採されたが、これを心配した地元住民の働きかけの結果、御油のマツ並木は東海道のマツ並木の中で代表的なものとして、昭和19(1944)年に国天然記念物の指定を受けた。
- (3)江戸時代に記された十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』という物語に、村人がマツを切ってしまったことを悲しんだタヌキが、お化けのふりをして村人を懲らしめたという話がある。

問 21

赤坂町にある市指定有形文化財の建造物・旅籠大橋屋は、江戸時代の東海道赤坂宿の様子を今に伝える貴重な建物ですが、旅籠を現代のものに例えたものは、次のうちどれでしょう。

- (1) スーパー
- (2) 旅館
- (3) 銀行



旅籠大橋屋の中の様子

問 22

長沢町には「フロノ下」の猪垣とよばれる石垣が敷地を囲んでいますが、これがつくられた目的として、正しいものは次のうちどれでしょう。

- (1) 農民の打ち壊しや暴動から庄屋(村の役人)の屋敷を守るため
- (2) 近くを流れる音羽川の増水から田を守るため
- (3) イノシシやシカなどから畑の作物を守るため



「フロノ下」の猪垣

問 23

八幡町の船山第1号墳は三河地方最大級の大きさをほこる古墳ですが、その形の種類は、次のうちどれでしょう。



(1) 前方後円墳



(2) 円墳



(3) 前方後方墳

問 24

天平13(741)年に聖武天皇が疫病(伝染病)や天災・内乱を仏教の力でおさめることを目的とし、全国につくった寺として市内にその遺跡があるのは、次のうちどれでしょう。

- (1) 聖武寺
- (2) 三河国分寺・国分尼寺
- (3) 西明寺

問 25

戦国時代の長篠の戦いで、一命をかけて織田・徳川連合軍に助けを求め、長篠城にいた味方の兵を救う活躍をした現在の市田町出身の人物は、次のうち誰でしょう。

- (1) 牧野古白
- (2) 鳥居強右衛門勝裔
- (3) 真田幸村信繁



赤塚山にあるその人物をたたえた碑

問 26

財賀町の財賀寺には、仁王さんとして親しまれている全国的にも数が少ない平安時代の金剛力士立像があります。この像の写真は、次のうちどれでしょう。

(1)



(2)



(3)



問 27

豊かな自然の中にあり市内で唯一の名勝(景色のよい場所)に指定されている、東上町にある滝(右の写真)の名前は、次のうちどれでしょう。

- (1) 牛の滝
- (2) 龍の滝
- (3) 馬の滝



問 28

大木町にある念仏塚古墳群では、この地域では珍しい形象埴輪(人や家、家畜などの具体的に何か分かる形をした埴輪)が多く見つかっていますが、この古墳群で見つかった下の写真の形象埴輪が表している人物は、次のうちどれでしょう。

- (1) 兵士
- (2) 狩人
- (3) 力士



問 29

千両町の犬頭神社に伝わる伝説について、()に当てはまるものの組合せとして、正しいものは次のうちどれでしょう。

むかし、千両の村の役人の家で(あ)を飼っていましたが、どうしたことかみな死んでしまいました。怒った役人は妻を残して家を出て行き、残された妻は貧しいながらも生き残った(あ)を大切に育てましたが、ある時(い)がこれを食べてしまいました。妻が悲しんでいると不思議なことに、(い)の鼻から(う)が出てきて、引っ張ると(う)がたくさん取れました。この話を聞いた役人は自分の薄情を恥じて妻のもとに戻りとどまるようになりました。さらにその後死んでしまった(い)を埋めた跡に植えた桑には(あ)が繭を作るようになり、(う)が限りなく取れるようになりました。

- (1)あ：鶏　い：飼い猫　う：卵
(2)あ：蜂　い：飼い馬　う：蜂蜜
(3)あ：蚕　い：飼い犬　う：生糸

問 30

一宮町の砥鹿神社里宮に関する説明として、間違っているものは次のうちどれでしょう。

- (1)古くから砥鹿神社は、三河にある神社の筆頭である一宮に位置付けられ、崇められてきた。
(2)5月に行われる祭りでは、少年が走る馬に乗りながら弓を的にめがけて放つ騎乗式が行われる。
(3)国道に面して建つ石鳥居は、もとは江戸時代に別の場所に建てられたものだったが、昭和20(1945)年の豊川海軍工廠の空襲で被害を受け、昭和31(1956)年の修理をきっかけに現在の場所に移された。



砥鹿神社里宮